

浜松市生活支援体制づくり協議体（第二層、板屋圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和3年2月26日（金）14時00分から15時30分まで
参加者	委員：17人 関係機関：10人 （高齢者福祉課：2人、協働センター：2人、地域包括支援センター板屋：3人、市社協3人）
場所	福祉交流センター 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 地域包括支援センター板屋圏域協議体 会長</p> <p>3. 自己紹介 新たな出席者のみ（駅南地区1人、南部協働センター・コミュニティ担当）</p> <p>4. 協議内容</p> <p>①ロコモーショントレーニング事業の紹介と体験（地域包括支援センター板屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要とメニューを紹介。 ・ロコトレメニューの開眼片足立ちとスクワットを体験した。 ・紹介された団体一覧は浜松市HPに掲載されている。 <p>②地域の力、居場所の効果（浜松市社協CSW）</p> <p>パワーポイント資料を用いて説明。</p> <p>居場所の必要性を説明し、市内の活動事例を紹介。</p> <p>また、圏域で作成した社会資源マップを活用した成果物作成にも触れた。</p> <p>③成果物作成に向けた意見交換</p> <p>スケジュール表、活動場所まとめ（案）を用いて、SCより説明。</p> <p><以下、意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制づくりは介護保険予算から捻出する事業。そのため、成果物作成も高齢者が使いやすい情報をまとめたものにしなければ意味がない。 ・江東地区では昨年度、地域力向上事業で防災マップを作成した。Googleのマイマップ機能を用いてWeb上で公開している。随時編集可能。 ・駅南地区も防災マップづくりを検討している。 →既存のマップ等と重ならないよう情報を精査していく必要がある。 ・費用面について。成果物の形式や配布数量・内容によっては費用が高額になる。 捻出方法も考える必要がある。 →地域力向上事業を検討したが、受託事業は対象外だったと報告。 →地区にデータを分けて地区ごとに活用するのも一案。

	<ul style="list-style-type: none"> ・板屋圏域で1つにしてしまうとマップが大きいため高齢者は見にくい。 →地区ごとの作成等、今後検討していく。 ⇒次回会議にてマップ案を示し、委員内で揉んでいくこととした。 <p>5. 次回開催について</p> <p>⇒日程は未定だが、6月頃で調整することになった。地区センター事業</p> <p>会場：福祉交流センター（6月までに開催の場合）</p> <p style="padding-left: 40px;">アイミティ浜松（7月以降開催の場合）</p> <p>6. 閉会 地域包括支援センター板屋圏域協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>成果物作成に向けて準備していく。</p> <p>（レイアウト案作成や引き続きの情報収集等）</p>